

いち・にの・さんじん



日本医療機能評価機構
認定病院

原三信病院 広報誌

January 2014 NO. 46

病人のための病院

病院理念



作品:「極寒の鶴見岳 樹氷」(撮影地:別府市) 写真部 田中 満行

病院基本方針

- 「質の高い医療の追求
- 「居心地の良い環境の提供
- 「心のかもったサービスの実践

目次

- 病院にゆ〜す「当院の防火対策について」…………… 2
- 医学雑学講座「大腿骨近位部骨折と骨粗鬆症について」… 3
- THEプロフェッショナル「診療技術部」…………… 4
- 検査紹介コーナー「脳血管リハビリテーション」………… 5
- 香椎原病院だより・食のヒミツ…………… 6
- 呉服町腎クリニックからのお知らせ…………… 7
- 病院及び関連施設のご案内…………… 8



病 院 に ゆ ～ す

最近の
原三信病院の
動き

当院の防火対策について

昨年、福岡市内の整形外科医院で、10人もの尊い命を奪い、5人の負傷者をだす火災が発生しました。火災は、深夜2時20分頃、1階処置室の医療機器周辺から火が上がっているのを、夜勤の看護師が確認し、病院外に出て通りかかったタクシーの運転手に火災通報を要請し、その運転手により110番通報が警察に行なわれました。その後、警察から消防署へ通報転送により、20台の消防車が現場に出動し、約2時間後に消止められたと報道されています。2階の入院患者のほとんどは、自室のベッド上、心肺停止状態でみつかり、死因は一酸化炭素中毒の可能性が高いとみられています。本当に痛ましい事故です。

我々の病院で、もし同じような火災が発生したら、患者さんを安全に避難誘導できるだろうか？と心配と不安がよぎり、これまで以上に防火点検及び防火訓練を真剣に取り組まねばならないと感じました。

当院では、現在年3回の防火訓練を毎年行なっています。ひとつは、新人職員や中途職員に対して、福岡市民防災センターにて防災講習を受講させています。二つめは、博多区の自衛消防隊操方大会に参加しています。三つめは、夜間を想定した総合避難訓練を実施しています。その総合避難訓練については、昨年の火災後11月に実施したこともあり、消防署への通報及び初期消火に特に力をいれて実施しました。また、博多消防署の予防課署員の方にもご協力をいただき、避難訓練の状況を確認してもらい、訓練の講評をいただいています。その中で、火災が発生した場合、どの経路で避難させるかをすぐに判断し、正確に避難放送及び避難誘導することが大切だと指導を受けました。そして、日頃からの防火点検において、防火扉



博多区自衛消防隊操方大会



本院避難訓練

及び防火扉前に障害物を置いていないか？廊下や階段等避難経路に障害物はないか？防煙マスクやハンドマイクは点検され所定の位置にあるか？など、普段からの備えが一番大切だと教えられました。もちろん、火災自体が発生しないことが最良であるため、医療機器の点検はもとより、人の少ない夜間におけるの警備巡回の再確認を行ない、防火対策のさらなる強化を現在図っています。

総務課 課長 弥永 伸治



呉服町腎クリニック避難訓練(消火器の取り扱い)



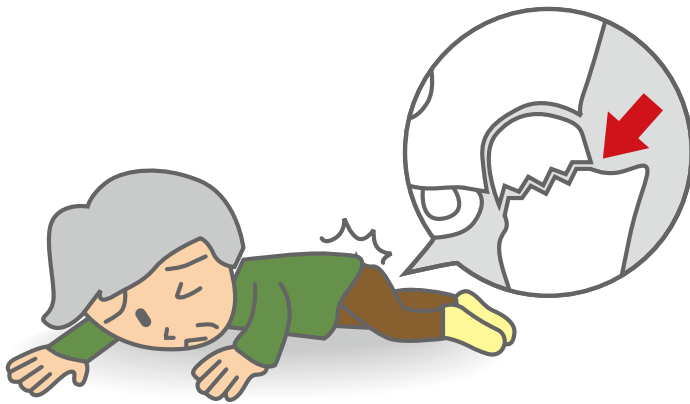
本院避難訓練



医学雑学講座

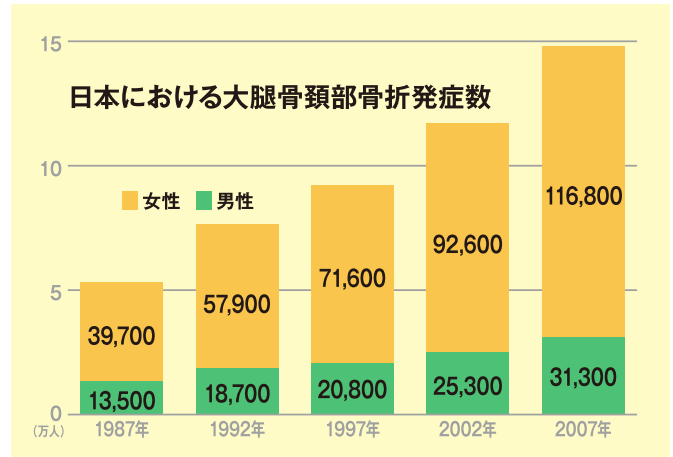
大腿骨近位部骨折と骨粗鬆症について

大 腿骨近位部骨折は、高齢者が微小な外力で骨を折ってしまう「骨粗鬆症に伴う脆弱性骨折」のひとつとしてよく知られています。ひと口に大腿骨近位部骨折と言ってもいろいろな分類や治療法がありますが、今回はその疫学や本邦での問題点を中心に説明します。



わが国では、急速に進む高齢化に伴い、要介護認定者数が増加の一途をたどっています。国民生活基礎調査によると、介護になった原因として「骨折・転倒」が増えており、そのほとんどが骨粗鬆症を基礎疾患に持つ脆弱性骨折によるものでした。なかでも大腿骨近位部骨折は他部位の骨折に比べ予後が悪く、発症後1年以内に20%が死亡し、40%が独歩不能となることから、個人にとっても社会にとっても大きな問題です。日本全体の患者数は1992年の調査で7.5万人であったのが、2007年に15万人に達しており、2012年の調査では20万人を超える見通しとのことです。

一方で、欧米など先進国では近年、大腿骨近位部骨折の発症患者数は軒並み減少に転じています。なぜならば、骨粗鬆症治療が目覚ましく進歩してきているからと説明されています。確かに最近、新しい骨粗鬆症薬が続々と登場してきており、高い効果が期待できる



(第4回、第5回大腿骨近位部骨折 全国頻度調査成績より)

薬剤が使用可能となってきました。そういうなかで、なぜ日本では大腿骨近位部骨折が増え続けているのでしょうか？

大きな要因として、骨粗鬆症の治療率と治療継続率が大変低いことが挙げられます。調査によると、1280万人の骨粗鬆症患者に対し約200万人しか治療を受けていないそうです。また、大腿骨近位部骨折を発症した患者の50%は過去に脆弱性骨折の既往があるにもかかわらず、骨粗鬆症治療率は20%に達するのみでした。高血圧や糖尿病を放置すると脳卒中や心筋梗塞を引き起こすように、生活習慣病である骨粗鬆症を放置すると脆弱性骨折という“発作”が起きるのは必然と言えます。現在、この状況を打開するため、日本骨粗鬆症学会を中心に新しい試みが始まりつつありますので、また次の機会にご紹介したいと思います。



整形外科 部長 崎村 陸



THE プロフェッショナル

診療技術部

診療技術部は、様々なライセンスを持った多職種集団です。

■ 臨床検査科(25名)



生理検査室



病理検査室



輸血管理室



検体検査室

■ 放射線科(18名)



リハビリテーション科(14名)



■ 薬剤科(15名)



■ 超音波検査科(7名)



■ 栄養科(5名)



■ 歯科(4名)



■ 技術部会議の様子



以上の8科合計98名が所属しております。

各々が、取得したライセンスに基づいて医療に携わっていますが、国家資格とは別に、病院としての機能を果たすために、施設の基準を満たすためや、専門職としてのスキルアップのために研修し、取得している認定資格が様々あります。

今回は、当院診療技術部の職員が取得している国家資格と、認定資格を紹介したいと思います。

	国家資格	認定資格
臨床検査科	臨床検査技師(25)	細胞検査士(2) 認定血液検査技師(1) 二級臨床検査士(1) 日本糖尿病療養指導士(1) 超音波検査士循環器領域(1) 超音波検査士腹部領域(1)
放射線科	診療放射線技師(15)	乳房撮影認定技師(4) 胃がん検診専門技師(1) 放射線治療技師(1) 第1種放射線取り扱い主任者(1)
薬剤科	薬剤師(14)	認定実務実習指導薬剤師(1) 日病薬認定指導薬剤師(3) 福岡県糖尿病療養指導士(1)
リハビリテーション科	PT(理学療法士)(12) OT(作業療法士)(1) ST(言語聴覚士)(1)	呼吸療法認定士(1) ケアマネージャー県指定(2)
臨床工学科	臨床工学士(10)	呼吸療法認定士(1) 透析技術認定士(2) 第1種ME技術実力検定(2) 第2種ME技術実力検定(3)
超音波検査科	臨床検査技師(6) 看護師+臨床工学士(1)	超音波検査士腹部領域(3) 排尿検査士(3)
栄養科	管理栄養士(5)	NST専門療法士(1)※栄養サポートチーム TNT-D認定管理栄養士(1)※総合的栄養管理 病態栄養専門師(1) 福岡県糖尿病療養指導士(2)
歯科	歯科衛生士(2) 歯科衛生士+技工士(1) 歯科助手(1)	

※()内は人数

現代では、医療の高度化・複雑化にともない、以前は医師のみが行っていた業務の細分化・分業化が進んでいます。

我々、コ・メディカルスタッフは、高度な専門性の追究と、自己研鑽を重ね、高いレベルの情報提供を心がけて、個々のスキルアップに努めています。

また、他部門との連携を深め、チーム医療の推進に協力し、患者様の早期の健康回復に寄与できるよう、日々努力しております。



診療技術部 部長 阿部 健吾



検査紹介コーナー

脳血管リハビリテーション

脳血管等リハビリテーションとは？

- 脳出血、脳梗塞やパーキンソン氏病などの脳の病気で運動麻痺を患った患者様、肺炎後や外科の手術後などの体力の低下した患者様に行なうリハビリテーションのことを指します。

対象疾患

- 脳梗塞、脳出血、脳炎、髄膜炎、低酸素脳症、脳腫瘍、脊髄腫瘍、末梢神経障害、皮膚筋炎、多発性筋炎、ギランバレー症候群、多発性硬化症、パーキンソン氏病、脊髄小脳変性症、運動ニューロン疾患などの神経疾患の患者様、肺炎、外科術後などに体力が低下している患者様が訓練・治療対象となります。

訓練・治療

- 一般的には理学療法・作業療法の2種類の治療を行なうことが多いですが、患者様の症状により言語聴覚療法を加えて3種類の治療を行なうこともあります。

先に挙げました3つの療法についてご説明します。

理学療法

最初はベッド上で寝たきりにならないよう、ベッドを起こしたり、腰かけたりする練習を行ないながら、血圧の調整・起きたり座ったりする感覚を習得したりします。その後、安静状態が解除になってから、立つ練習、歩く練習などを行ない、日常生活に必要な基本的な運動能力の習得を行ないます。

作業療法

最初の訓練は、理学療法とほぼ同様ですが、安静状態が解除になると、日常生活に必要な応用的な動作の習得を行ないます。

たとえば、トイレの練習や食事の際の箸・スプーンなどの操作などさまざまな練習を行ないます。また、退院後の生活を見据えた家屋改修の提案や、認知能力などに障害がある患者様の訓練なども行ないます。

言語聴覚療法

脳の病気による言葉の障害がある患者様に、検査、評価、訓練や指導を行ないます。その人が行ないやすいコミュニケーション方法を患者様と共に考えます。

また、食べること・飲み込むことが困難になった患者様に対しても、検査、評価、訓練を行ない、その患者様に合った食べ方や食事の形態の提案を行ないます。

理学療法



作業療法



おわりに

これらの訓練・治療は、医師の指示のもとに、手術後もしくは発症後早期から行なっています。なるべく早く患者様が普通の生活に戻れるよう努力していきたいと思えます。

なお、ご不明な点につきましては、リハビリテーション科までお問い合わせください。



リハビリテーション科 科長 烏山 邦敏



かしいの杜 居宅介護支援事業所「だいち」と訪問看護室「あやすぎ」のご紹介

今回は香椎原病院在宅部門「かしいの杜」の居宅支援事業所「だいち」と訪問看護室「あやすぎ」のご紹介をします。

既に介護保険のことをご存じの方が多くはありますが、改めて居宅支援事業所とは、介護に関するさま



ざまな相談をケアマネジャーがお受けして、要介護と認定された方が、安心して在宅で生活できるように支援しています。

また、訪問看護とは、ケアマネジャーや主治医からの紹介で、病気の管理の方法や在宅療養全般に関することを、ご自宅に看護師が訪問して、ご本人・ご家族と一緒に考え実施していきます。

かしいの杜は、看護師の資格をもったケアマネジャーと、訪問看護師が協力して在宅生活での医療の管理全般にわたりお手伝いをしています。

東区にお住まいの方で病気に不安を感じておられる方は、遠慮なくご相談下さい。



地域ケアセンター東福岡 かしいの杜 副センター長 長谷川 都紀代



食のヒミツ

米と健康ダイエット

健 康食といわれる和食。その伝統的な日本食に欠かせないお米と健康についてのお話♪

良いところ ①腹もちが良い②脂質・塩分をほとんど含まない③淡泊で飽きない味・どんな食材にも合う④便秘を解消する(ご飯に含まれる食物繊維やレジスタントスターチは糖として吸収されにくく、腸を刺激)

悪いところ ①飽きがないため、つい食べ過ぎる②カルシウム・脂溶性ビタミン・たんぱく質が少ない③白米ではビタミンB群など水溶性ビタミンも少ない。

※ビタミン・ミネラルを多く含む順：
玄米>分づき米・胚芽精米>精白米

ご飯はよく噛んでゆっくり食べることで満腹感を得られ、食べすぎを防ぎます。また、肉・魚・野菜・海藻などのおかずを組み合わせることで不足する栄養素を補い、栄養バランスの良い食事をとることが出来ます。極端にご飯を減らしたダイエットは一時的に体重が落ちますが、栄養が偏って体調を悪くしたり、精神的に不安定になったりして続かず、リバウンドしてしまったという話をよく耳にします。ご飯を食べて、健康的に長く続けられるダイエットを目指しましょう！

栄養科 主任 本多 千恵



呉服町腎クリニックからのお知らせ

安全・災害管理班 防災・避難訓練

2013年11月10日(日)に原三信病院呉服町腎クリニックにて防災・避難訓練を行いました。患者様10名のご参加をいただきました。博多消防署より4名の消防署員の方々のご参加をいただき、防災・避難の詳しいご指導をいただきました。患者様、博多消防署員の皆様、誠にありがとうございます。①災害時に安全に院外に避難できること、②安全に治療を中止できるこ

と、が最重要と考えております。階段が使用できない時の窓側からの脱出の訓練も行ないました。



編集後記

新年あけましておめでとうございます。今回の医学雑学講座では、大腿骨近位部骨折と骨粗鬆症について取り上げました。高齢化社会の進行とともに大腿骨骨折は、近年増加傾向にある骨折の一つであり、骨粗鬆症は、その重要な原因の一つです。皆様に“わかりやすく”お伝えしたく、テーマとして取り上げました。

今年も広報誌を通して様々な情報を発信していきたいと思っております。

なお、広報誌に関する皆様のご意見を、1階公衆電話横をはじめ、各病棟に設置しております「ご意見箱」にお寄せいただければ幸いです。

広報・連携委員会 委員長 原 直彦

病院及び関連施設のご案内



原三信病院

〒812-0033 福岡市博多区大博町1-8
 ☎092-291-3434 FAX092-291-3424
 URL <http://www.harasanshin.or.jp>
 ☒ info@harasanshin.or.jp



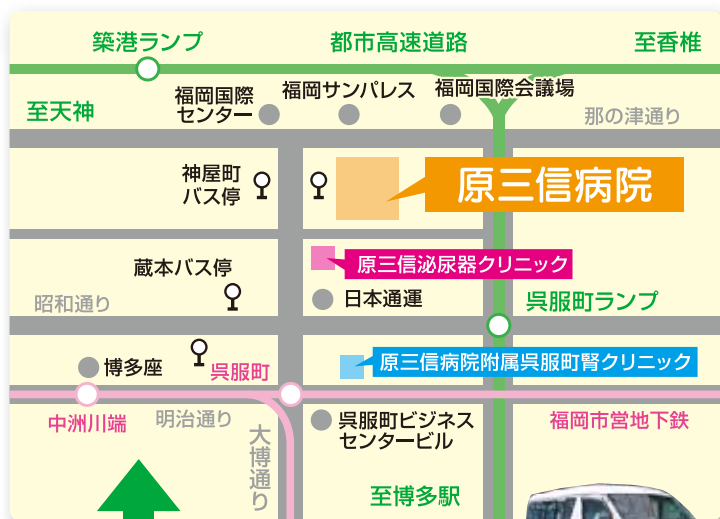
● 診療時間

月～金曜日 9:00～13:00・14:00～17:00 土曜日 9:00～13:00

※日・祝祭日および8月15日・12月31日～1月3日はお休みです。但し、急患の患者様は、救急外来にて診察いたします。

● 診療科目

総合診療科・循環器科・消化器科・呼吸器科・糖尿病科・外科・血液内科・腎臓内科・脳神経内科・整形外科・脳神経外科・泌尿器科・婦人科・放射線科・麻酔科・臨床病理科・歯科・健康管理センター



シャトルバス運行しています

	香椎原病院発	千早駅発	原三信病院着	原三信病院発	千早駅発	香椎原病院着
午前	9:30	—	10:00	10:10	10:35	10:40
	11:40	11:50	12:10	12:20	12:45	12:50
午後	13:40	13:50	14:10	14:20	14:45	15:00
	15:50	16:00	16:20	16:30	—	17:00

運休日：日曜・祝日・年末年始 ※時刻・路線は変更することがございます。詳しくは受付にてお尋ね下さい。



原三信病院附属 呉服町腎クリニック



〒813-0011 福岡市博多区中呉服町1-25
 ☎092-262-2828
 FAX092-262-2853
 ☒ gofukumachi@harasanshin.or.jp

- 診療時間 水曜日 14:00～17:00
- 診療科目 内科・人工透析

原三信泌尿器クリニック



〒812-0034 福岡市博多区下呉服町2-13
 双和ビル2F(双和薬局上)
 ☎092-283-5121
 FAX092-283-5131

- 診療時間 月～金曜日 9:00～13:00 14:00～17:00
- 診療科目 泌尿器科

香椎原病院



〒813-0011 福岡市東区香椎3-3-1
 ☎092-662-1333 FAX 092-662-1330
 URL <http://www.kashiihara.or.jp/>

- 診療時間 月～金曜日 9:00～13:00 14:00～17:00
- 診療科目 内科・リハビリテーション科

病院理念 手の暖かさの伝わる病院